（第二版）（原稿配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和七年五月七日　臺灣日日新報　（土曜日）　第一万二千五百二十一號　（一）

臺灣新報 夕刊

五月六日

白川司令官、全軍に協定成立を通達す

四週間以内に撤收完了

【上海五日發電通】五日午後五時軍司令部發表、白川軍司令官は午後一時二十分日支停戰協定成立せしをもつて之を全軍に通達し、爾今一切の敵國行爲の停止を命せり、共同委員として我方より村井總領事と原田中佐を任命せり

【上海五日發電通】我軍の撤收に就いては五日の白川軍司令官の通告の如く協定に從ひ撤收するが、軍に於いては既に五日朝から撤收を開始して居り、主力部隊の撤收も遲からず行ふ方針で、軍當局は撤收完了までに四週間は要しないと語つてゐる

國民政府が宣言

日本軍撤收後の治安維持について

大手術を前にした公使の一言に感激

日支民心の融和に努めると

張似旭、病床見舞の後語る

【南京五日發電通】停戰協定成立後に於ける治安維持に關し國民政府は五日午後左の如き宣言を發した

一、日本軍撤收後上海に於ける治安維持の爲め、外交部特派員の下に組織する特別保安委員會は、北平から派遣した特別保安隊と協力して之に當らしめて停戰協定の規定に依り日本から撤收地帶を引繼ぐこととなつた

二、支那代表決定せず

混合委員會は一兩日延期

【上海五日發電通】戰爭終了の組織に關しては五日の編成式に於いて發表する筈であつたが、支那の三委員の人選が定まらず、之を通告するを延期したので、混合委員會は一兩日延期することとなつた

重光公使、俄然絶望狀態に陷る

手術後病狀惡化して

【上海六日發電通】重光公使の病狀は六日午前二時頃から俄然惡化し、體溫は三十八度七分、脈搏百二十、呼吸二十六、手術後の經過は一進一退を續けて餘り面白くなく、目下稍小康なるも緊張を許さない

◇

【上海六日發電通】福民病院發表　重光公使は昨夜七時の容態は體溫二六度九分、脈搏一一八、呼吸二六でリンゲル液七百グラムを注射した、本日午前八時半の容態は體溫三六、六、脈搏一〇六、呼吸二六、睡眠四時間

◇

【上海六日發電通】重光公使の病床を訪れた時、重光公使は左手で余の手を取り右手をその上に重ね、中岡夫人と日本人は元來親しい友人なのであるとふことを云つた

模範警官隊 上海に向ふ

撤退區域警備の爲め

【北平五日發電通】第四師第四團第一營第一連第二排の警官隊は五日午前八時半より警官隊後日本人居留民の引揚げ警備に當ることとなつた

民衆運動を禁止

【上海五日發電通】外交部は五日附を以て左の如き新命令を發した

一、從來上海に於ける一切の民衆運動は之を禁止す

二、支那人にして抗日運動を爲すものは嚴重に之を取締る

三、抗日團體は之を解散す

四、抗日團體の解散後は之が再組織を禁止す

五、抗日團體の解散後は之が再組織を禁止す

引續き 漂水艦隊に

【ゼネバ六日發電通】軍縮會議海軍委員會は五日午前十時から豫備

海軍委員會での 各國の主張

何等纏りを見ず

【ゼネバ五日發電通】海軍委員會に於ける各國の主張は左の如し

英國　英國は潛水艦に付き、日本は潛水艦は防禦的武器なりとの意見を持つてゐる、潛水艦は水上からは發見し得ない性能を利用して強力な水上艦と戰ひ得る點に於いて、若し潛水艦が廢止されれば、その結果は優勢なる海軍國の有利となるものである

潛水艦問題で 日米委員が論戰

五日の軍縮海軍委員會

軍の問題を討議するに先立ち、日本は水上艦艇の一部を潛水艦に變更する事が出來る、日本は水上艦艇の一部を潛水艦に變更する事が出來る、日本は水上艦艇の一部を潛水艦に變更する事が出來る

獨逸人新聞記者 退國を命ぜらる

滿洲國を誹謗して捕はれ 詫狀を入れて釋放

切斷した右脚は アルコール漬

國家的記念として保存

【新竹電話】小濱內務局長は六日午前十時半發新竹に自動車にて視察に到り各部長等の出迎へを受け、內務局に於いて管內概況の報告を受け市街視察の後、午前十一時四十五分總督府發

醸造研究會 例會開催

六日新竹にて

【新竹電話】醸造研究會例會は六日新竹公會堂にて開催、出席會員三十名、來賓山本總督府殖產局長、中澤技師、新竹州總督府事務官等

新竹州の農務 打合せ會

【新竹電話】新竹州にては六日午前九時から州廳に於いて農務主任會議を開催し、後藤內務部長より訓示があつた後、午後一時から農務課に於いて打合せ會を開いた

熙洽氏と會見して 調査團深刻な質問

吉林省の獨立問題で

【新京六日發電通】聯盟調査團一行は五日午後二時國務院に於ける國務會議に出席し、熙洽氏と會見したが、事變勃發後吉林省が他省に先だつて獨立宣言した事情、新國家の建設當時の事情及び現在吉林軍現狀等に付き熙洽氏より詳細を聽取した

私鐵買收で 藏相口說落さる

鐵相との折衝で 三千萬圓容認に決す

【東京六日發電通】床次鐵相、高橋藏相は五日午前午後の二回に亙り私鐵買收案に關する折衝を重ねたが、高橋藏相も遂に鐵相の切なる懇請を容れ、買收價格に關する一、買收價格決定に當つては八割を基礎とする

北滿情勢を 聯盟に通達

支那代表から

【ゼネバ五日發電通】支那代表顧維鈞氏は五日聯盟理事會に於いて滿洲問題に關し、日本軍の撤退は速かに行はるべきことを要求し、聯盟は日本軍の撤退を促進すべきことを決議した

總領事事務は 副領事が代行

【上海五日發電通】村井總領事は六日の整備丸で來奉、當日午後五時五十九分奉天着車にて直ちに新任地に著任の筈

牧野參與官 けふ錦水視察

【新京電話】牧野拓務參與官一行は五日午後二時二十六分來新、市內視察の上滿鐵の上議員と一浴したが六日は午前七時三十三分發錦水を視察する筈

安武文教局長 滬中に向ふ

【新京電話】安武文教局長は六日錦水視察の筈であつたが都合により午前七時三十三分發滬中に向つた

郡內務部長 けふ著任

【新京電話】郡新京內務部長は六日の整備丸で來奉、當日午後五時五十九分奉天着車にて直ちに新任地に著任の筈

小濱內務局長 新竹を視察

【新竹電話】小濱內務局長は六日午前十時半三分長新、直に自動車にて後藤參事官、警察課長を從へ州廳に到り各部長、職員の出迎へを受け、內務局に於いて管內概況の報告を受け、午後一時四十五分總督府發

世界經濟回復の 計畫を提唱

米上院でボラー氏

【華盛頓五日發電通】米上院外交委員長ボラー氏は本日米上院で軍縮問題、賠償問題解決及び銀價回復の三大重大より成る世界經濟回復の提唱を爲したが、ボラー氏は先づ銀價の下落より說き、一九二五年頃後以後の黃金蒐集を攻撃し、更に軍縮により國家負擔が輕減され、賠償問題が解決し、購買力が增加し、銀價を二九二五年頃後に回復すれば世界經濟は回復するであらうと述べた

ランプソン公使 歸國後辭任

新夫人を迎へて 蜜月の旅に上る

【上海五日發電通】チヤンプソン公使は今回歸國後辭任し、新夫人を伴ひ滿洲蜜月の旅に上るとのことで、滿洲着車に際り、シベリア經由歸國することになつた

火の鳥

前田晃作
橋本邦助畫

（86）

面會（四）

「ほゝ。居ります……」と、安田は思はずいつたが、と同時に、なぜともなく水島の姿に優越感を感じてやらなければならないやうな氣がして、腑けた。「が、今、錄音の仕事にかかつてゐますから。……」

「さう。實はね、わたくし、水島さんにも此間お願ひしてあるのよ。それはね、もうお聞きかも知れませんが、パリのほうで新婚ひびいて、こちらに來つて居いた間か、ちやうど三十二歳ほど縮つて居りますの。それを二つ、今度はどうでも處分してしまひたいと思つて居りますの。大きなのやかさなのや、いろ〳〵ですが、百間半位にしても千六百圓、殘餘にしても三分の一の千圓にはなりやうと思ひますの。勿論、それぼかりでは、

大手術を前にした 公使の一言に感激

日支民心の融和に努めると

張似旭、病床見舞の後語る

敗血症

後藤博士語る

【上海五日發電通】後藤博士語る　重光公使の容態惡化し、敗血症となり生命の危險に來すので敗血症とは、病原菌が血液中に侵入して、之が全身に廻つて來るのをいふのである、病原菌が血液中に侵入して來るのをいふのである

小濱內務局長 新竹を視察

【新竹電話】小濱內務局長は六日午前十時半三分長新、直に自動車にて後藤參事官、警察課長を從へ州廳に到り各部長、職員の出迎へを受け、內務局に於いて管內概況の報告を受け、午後一時四十五分總督府發

世界經濟回復の 計畫を提唱

米上院でボラー氏

【華盛頓五日發電通】米上院外交委員長ボラー氏は本日米上院で軍縮問題、賠償問題解決及び銀價回復の三大重大より成る世界經濟回復の提唱を爲したが、ボラー氏は先づ銀價の下落より說き、一九二五年頃後以後の黃金蒐集を攻撃し、更に軍縮により國家負擔が輕減され、賠償問題が解決し、購買力が增加し、銀價を二九二五年頃後に回復すれば世界經濟は回復するであらうと述べた

ランプソン公使 歸國後辭任

新夫人を迎へて 蜜月の旅に上る

【上海五日發電通】チヤンプソン公使は今回歸國後辭任し、新夫人を伴ひ滿洲蜜月の旅に上るとのことで、滿洲着車に際り、シベリア經由歸國することになつた

火の鳥

前田晃作
橋本邦助畫

（86）

面會（四）

「ほゝ。居ります……」と、安田は思はずいつたが、と同時に、なぜともなく水島の姿に優越感を感じてやらなければならないやうな氣がして、腑けた。「が、今、錄音の仕事にかかつてゐますから。……」

「さう。實はね、わたくし、水島さんにも此間お願ひしてあるのよ。それはね、もうお聞きかも知れませんが、パリのほうで新婚ひびいて、こちらに來つて居いた間か、ちやうど三十二歳ほど縮つて居りますの。それを二つ、今度はどうでも處分してしまひたいと思つて居りますの。大きなのやかさなのや、いろ〳〵ですが、百間半位にしても千六百圓、殘餘にしても三分の一の千圓にはなりやうと思ひますの。勿論、それぼかりでは、

金の儲け王 エーケー式 自動販賣機 安売王
開口一發!! 五合の米がハガキに印刷!! 特許 昭和五年度の發明王 特許 昭和五年度の發明王 特許 昭和五年度の發明王
元祖 製造販賣 所立鉄部商
電話 一四六二番 一四六三番
電報 一六九九番 一六九九番

右商標登録 商標名称 アイン印 TRADE MARK 特許 新案 意匠 實用新案 意匠 新案 特許
特許 新案 意匠 實用新案 意匠 新案 特許
特許 新案 意匠 實用新案 意匠 新案 特許

無斷採血事件は果して罪になるか

けふ被害者の祖父と母召喚
邱醫師には拘引狀發せらる

斷然採血に踏切つた邱醫師は、此の點を深く考慮に入れ、事は人の生血を盜んだ醫療界に初めて聞く近代的の事件として到る處に噂の種となり非常なセンセーションを捲き起してゐる、同氏は昨日午前十時より警察部に召喚されて取調べを受けたが、午後一時半頃に至つて拘引狀が發せられ、同氏は直ちに警察部の自動車で臺北刑務所に送られた、邱氏の拘引は、勿論、採血事件に關する取調べを行つた上、證據湮滅の虞れありと認めたからであるが、同氏は、此の事件に關し、

「マラリア患者の血液を注射した事は、醫學上の研究からで、決して惡意からではない、又この採血は、患者の生命に危險を及ぼすやうな事は絶對にないから、何等罪になる筈はない」

と主張してゐるが、警察部では、同氏の主張は、採血の動機に關する點だけで、採血そのものは、明かに刑法第二百九十五條の傷害罪に該當するものと認めてゐる、

竊盜傷人か、詐欺傷人か

小量なら問題にはならない
◇—法曹界の某權威は語る

無斷採血につき法曹界の權威者は次の如く語る

百五十グラム乃至二百グラム位の血液を一時に採血するので、幼ない子供からそんな多量の採血又は輸血を行ふことは危險だと思ふ、これに法律的觀點を下せば傷害罪として取扱ふべきかについては法律上の解釋に多大の興味があり、また困難な事件であるので、邱醫師の檢察局送りは益一兩日中に

相手方の承諾を得なかつたのが問題

赤十字の山中醫師語る

マラリア患者の血液を採取するのに何等の說明も得ずに無斷でやつたとすればそれは醫師としても良くない事だと思ふ、別に今日明日と急ぐ程の事でもなく又その血液なら中央研究所の方から供給して貰ふ方法があるのだから、それ程までしてマラリア患者から血液を取るにも及ばなかつたであらうと考へられるが、その點はどう云ふ風に聞たか委しくは知らない

血液植付けの效果は疑問

無斷採血はよくない
雲英博士は語る

マラリア患者の血液植付事件に就いて內務局の醫師某北醫院內科醫長某醫博士は語る

「マラリア患者の血を骨髓患者に植え付ける事は當院でも時時行つてゐますがその效果に就いては未だ發表してゐない、尚ほ效果如何なのは勿論病患者に對してであつて、第三病患者に對しては屢々效果あるものと認めてゐる、ただマラリア患者から血液を採取するのに何等の說明も得ずに無斷でやつたとすればそれは醫師としても良くない事だと思ふ、別に今日明日と急ぐ程の事でもなく又その血液なら中央研究所の方から供給して貰ふ方法があるのだから、それ程までしてマラリア患者から血液を採取するにも及ばなかつたであらうと考へられるが、その點はどう云ふ風に聞たか委しくは知らない

傷害と竊盜の一罪を構成

醫藥の代用物と見れば
血液は一つの財物となる
帝大の安平敎授談

マラリア患者の血を他の人に植付けた點につき、日本赤十字病院のため血に用ひた赤十字內科醫長代理山中醫師に聞けば語る

「マラリア患者の血を骨髓患者に植え付ける事は當院でも時時行つてゐますがその效果に就いては未だ發表してゐない、尚ほ效果如何なのは勿論病患者に對してであつて、第三病患者に對しては屢々效果あるものと認めてゐる、ただマラリア患者から血液を採取するのに何等の說明も得ずに無斷でやつたとすればそれは醫師としても良くない事だと思ふ、別に今日明日と急ぐ程の事でもなく又その血液なら中央研究所の方から供給して貰ふ方法があるのだから、それ程までしてマラリア患者から血液を採取するにも及ばなかつたであらうと考へられるが、その點はどう云ふ風に聞たか委しくは知らない

血液植付けの效果は疑問

無斷採血はよくない
雲英博士は語る

マラリヤ患者の血液植付事件に就いて內務局の醫師某北醫院內科醫長某醫博士は語る

「マラリヤ患者の血を骨髓患者に植え付ける事は當院でも時時行つてゐますがその效果に就いては未だ發表してゐない、尚ほ效果如何なのは勿論病患者に對してであつて、第三病患者に對しては屢々效果あるものと認めてゐる、ただマラリヤ患者から血液を採取するのに何等の說明も得ずに無斷でやつたとすればそれは醫師としても良くない事だと思ふ、別に今日明日と急ぐ程の事でもなく又その血液なら中央研究所の方から供給して貰ふ方法があるのだから、それ程までしてマラリヤ患者から血液を採取するにも及ばなかつたであらうと考へられるが、その點はどう云ふ風に聞たか委しくは知らない

血を盜まれた少女

（上）は被害者智惠子さん（淡町の自宅にて）（下）は六日南署に召喚された智惠子さんの祖父と母親（屋宮にて）

傷害と竊盜の一罪を構成

醫藥の代用物と見れば
血液は一つの財物となる
帝大の安平敎授談

マラリア患者の血を他の人に植付けた點につき、日本赤十字病院のため血に用ひた赤十字內科醫長代理山中醫師に聞けば語る

「マラリア患者の血を骨髓患者に植え付ける事は當院でも時時行つてゐますがその效果に就いては未だ發表してゐない、尚ほ效果如何なのは勿論病患者に對してであつて、第三病患者に對しては屢々效果あるものと認めてゐる、ただマラリア患者から血液を採取するのに何等の說明も得ずに無斷でやつたとすればそれは醫師としても良くない事だと思ふ、別に今日明日と急ぐ程の事でもなく又その血液なら中央研究所の方から供給して貰ふ方法があるのだから、それ程までしてマラリア患者から血液を採取するにも及ばなかつたであらうと考へられるが、その點はどう云ふ風に聞たか委しくは知らない

赤十字の山中醫師語る

相手方の承諾を得なかつたのが問題

相手方の承諾を得なかつたのが問題

赤十字の山中醫師語る

マラリア患者の血液を注射した點につき法曹界の權威者は次の如く語る

「マラリア患者の血液を注射した事は、醫學上研究からで、決して惡意からではない、又この採血は、患者の生命に危險を及ぼすやうな事は絶對にないから、何等罪になる筈はない、尚ほ效果如何なのは勿論病患者に對してであつて、第三病患者に對しては屢々效果あるものと認めてゐる、ただマラリア患者から血液を採取するのに何等の說明も得ずに無斷でやつたとすればそれは醫師としても良くない事だと思ふ、別に今日明日と急ぐ程の事でもなく又その血液なら中央研究所の方から供給して貰ふ方法があるのだから、それ程までしてマラリア患者から血液を採取するにも及ばなかつたであらうと考へられるが、その點はどう云ふ風に聞たか委しくは知らない

相手方の承諾を得なかつたのが問題

赤十字の山中醫師語る

マラリア患者の血液を注射した點につき法曹界の權威者は次の如く語る

「マラリア患者の血液を注射した事は、醫學上研究からで、決して惡意からではない、又この採血は、患者の生命に危險を及ぼすやうな事は絶對にないから、何等罪になる筈はない、尚ほ效果如何なのは勿論病患者に對してであつて、第三病患者に對しては屢々效果あるものと認めてゐる、ただマラリア患者から血液を採取するのに何等の說明も得ずに無斷でやつたとすればそれは醫師としても良くない事だと思ふ、別に今日明日と急ぐ程の事でもなく又その血液なら中央研究所の方から供給して貰ふ方法があるのだから、それ程までしてマラリア患者から血液を採取するにも及ばなかつたであらうと考へられるが、その點はどう云ふ風に聞たか委しくは知らない

竊盜傷人か、詐欺傷人か

小量なら問題にはならない
◇—法曹界の某權威は語る

無斷採血につき法曹界の權威者は次の如く語る

百五十グラム乃至二百グラム位の血液を一時に採血するので、幼ない子供からそんな多量の採血又は輸血を行ふことは危險だと思ふ、これに法律的觀點を下せば傷害罪として取扱ふべきかについては法律上の解釋に多大の興味があり、また困難な事件であるので、邱醫師の檢察局送りは益一兩日中には

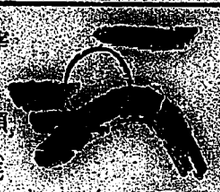
殘月譜

志乃田迪司作　清水三重三畫

（173）

宰領

（三）



奉天の阿片窟に學良を怨む第〇夫人

支那大官の內面暴露

『そんなに私を裸にしたいの？』

奉天本社通信員　小濱新

若葉に映える繪日傘の流行は？

美的效果はまさに百パーセント

歐米の御婦人にも大歡迎

海濱情景……夏のスツケチ……內地通信

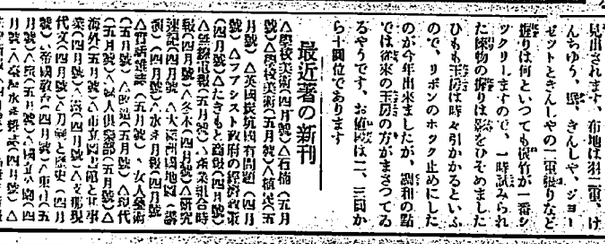
名家敗退將棋

（九）

（平野氏二回勝二人目）

先▲六段　平野信助

後△六段　齋藤銀次郎



臺日案內

書籍　文具　兒童用品　自轉車　ニッオ蓄機　十九圓半　引越荷物は　染物洗張　萬年筆　德丸三郎理髮館　和田はメカネ專門　井戸ポンプは〇八ポンプは和揚　藥掛瓦は大勉強　コンセイ　バイオリン尺八

ルマカルシユーム錠　安產のために　ワダカルシユーム錠　妊産婦を保護し、胎兒の發育を助け、母乳を豐富ならしめ、且乳質を改善せしむる等、諸多の效果を擧ぐ　發賣元　和田卯助商店

ルートサキラ　便秘　殊に常習便秘に　本劑は今や……　全國多數の病院醫院に於て優秀國產緩下劑として盛んに愛用されつゝあり　本劑の排便作用は通常六乃至十時間後に來り便通は極めて自然的にして何ら副作用なし　連用するも習慣性なく無味無臭にして服用し易く奏效常に顯著なり。（全國藥店にあり）　大阪　塩野義商店　道修町三

運動用具は　臺北　臺日へ

青線棒　青線　青線

晶妹妹の肌保護に　赤線青線下線へ個を銘

兵隊演劇

名古屋　笹田本店　堺津町　笹田兩店

マルマン

ミツワ石鹼本舖　東京・兩國　丸見屋商店　原籍貯金口座東京七一〇番　泰北市大船町一丁目　電話淺草五五五番・電話（トク）又（ベト）坂野家內一一六五番　丸見屋商店　MARUMIYA SHOT　MITSUWA　TOOTH POWDER　ミツワ歯磨　MITSUWA　TOOTH POWDER　ミツワ歯磨　MITSUWA　0.35

優秀廉價・理想的　清爽無比　三環標之牙粉乃應時代要求製出優秀之適用品而以最新口腔科學爲標本之理想品其香味特有清快洗用後口中快感清凉而即時飲食之亦無影響其香味且又價格至廉最是理想的優秀品也　三環標牙粉有大形袋入並罐入之二種供給各品質優秀且價格至廉之理想品也

ミツワ歯磨

臺日案內　書籍　文具　兒童用品　自轉車　ニッオ蓄機　十九圓半　引越荷物は　染物洗張　萬年筆　德丸三郎理髮館　和田はメカネ專門　井戸ポンプは〇八ポンプは和揚　藥掛瓦は大勉強　コンセイ　バイオリン尺八

漢文臺灣日日新報

撤收完了不須四禮拜
五日朝已行撤收
謝英公使斡旋
郭次長勇氣可敬
協定簽印終了
芳澤外相談

五日上海電。我軍撤收。如去五日白川軍司令官所通告。從協定明文而撤收。事例自五日朝。開始撤收。而主力部隊之撤收。不久亦將實行。第當局謂至撤收完了。不須四禮拜云。

我軍開始撤收
通告於中國
及列國共同委員會

五日上海電。軍司令部發表。

停戰協定成立結果。我軍部將左記通告。交付於中國及列國共同委員會。

通告

帝國軍以本協定之忠實履行第一步。明六日起。開始撤收。以此通告。

模範警官隊五百名
六日自北平赴上海
警備撤收區域

五日北平電。爲警備上海我軍撤退區域。由北平選警中。選拔模範警官隊五百名。特別訓練假終。六日由津浦線赴上海。

私鐵買收
七八會社

金額二千萬圓

六日東京電。床次鐵相。當局私鐵買收案。兩四。折衝私鐵買收案。當橋鐵相。答納鐵相希望。私鐵買收交付公債總額三千萬圓。答認買收會社數七八社。

公使手術前
態度沈著

五日上海電。重光公使手術。愼重措置。後藤博士部答博士。田邊軍醫正。龜井軍醫中佐。井深博士。秋田上海醫師會長。川田博士八醫師。使令弟令兒所氏立會。公使於手術開始前及手術中。數回注意。謂「不必著急。宜十分注意勿使殘片遺留」諸博士皆驚其態度自若。

如放置之
則成敗血症
後藤博士談

五日上海電。後藤博士談。重光公使。容認感化。如放置之。則成敗血症。生命必危險。但本人快諾而切斷之。切後其組織腐收。頗切斷。甚佳。此二三日之經過。乃棟繁要。

重光公使
切斷之足
濱酒精保存之

五日上海電。重光公使右足切斷。(左脚乃誤電)。

兒童記念日
全島選優良兒

▲臺北　去五日兒童日。優良兒三十名。當局授與式。與于翠帥臺灣支部幼稚園遊藝會。午後二時半。西澤市尹。江藤社會課長。安井小兒科醫長。小濱內務局長。及中瀨知事。西澤市尹各夫人。市內各小兒科醫師臨席。安井小兒科長報告審查經過。略謂今回審查標嚴。有日本國中。不愧爲優良兒。應募兒童一百五十名中。本島人僅十七名。均無欠。選體格良好。

▲臺中　兒童日。午前十時。幼稚園兒遊行市中。午後七時。假臺中座。開優良兒選獎式。定刻到。中島內務部長式辭。宣告開會。中川部長。對優良兒二十名授與賞品。來賓遂就後映寫關于兒童有益影片數卷。同十時頃散會云。

▲彰化　午前八時。一般及學校生徒。所作標語頗多。揭市內及郊外要所。午後一時。開兒童大會。花園山有撰賓等。市內外極盛況云。

▲南投　去兒童日。南投街役場。廣布宣傳單外。對四歲未滿之兒童。臨時健康診察。自午後一時至三時。到街會議室受診者。不下千人。

▲高雄　去五日兒童日。照例報乘。乳兒選獎會。幼稚園兒自動車行列開講演會。映寫影片等。各盛況裡散會。

▲花蓮港　五日兒童日。行事。小學官開運動會。昭和會館開賞市。高等女學校生徒。所作標語頗多。福島市內及郊外。到處標語頒通行。奎府町一丁目四十七番地。王氏毛(年五十一)。同居人黃蘇氏紅柑。年三十。結不解緣。這是遠遊其白眼心其不甘。乃於去五月年後二時。執菜刀傷其繼部。及胸部。一面且以遺黃蘇氏自殺未遂。去一日警察署。逮捕送檢。

▲臺中　兒童日。午前十時。各學校兒童。參集公園。舉行兒童大會。午後一時。開始運動會。午後七時。假臺中座。開優良兒選獎式。定刻到。中島內務部長式辭。宣告開會。中川部長。對優良兒二十名授與賞品。來賓遂就後映寫關于兒童有益影片數卷。同十時頃散會云。

▲彰化　午前八時。一般及學校生徒。及小學校兒童。參集學校。午後二時起。街役場。其他各處。各頒布育兒保健。

▲北港　去五日。郡下各公學校。及小學校兒童。參集學校。午後二時起。街役場。其他各處。各頒布育兒保健。

▲虎尾　去五日。在虎尾公會堂內。兒童參會。主催虎尾公會堂。共催各公學校。及幼兒團。後援虎尾新報社。虎尾支局。虎尾青年團。虎尾婦人會。虎尾實業協會。虎尾消防組。虎尾警察官吏。虎尾公學校。虎尾女子公學校。虎尾庄役場。虎尾庄協議會。虎尾庄內各保甲。虎尾庄內各學校。虎尾庄內各幼稚園。虎尾庄內各產婆。虎尾庄內各醫師。虎尾庄內各藥劑師。虎尾庄內各產業組合。虎尾庄內各信用組合。虎尾庄內各金融組合。虎尾庄內各商店。虎尾庄內各工場。虎尾庄內各會社。虎尾庄內各銀行。虎尾庄內各運輸業者。虎尾庄內各料理店。虎尾庄內各旅館。虎尾庄內各飲食店。虎尾庄內各理髮店。虎尾庄內各浴場。虎尾庄內各劇場。虎尾庄內各活動寫眞館。虎尾庄內各藝妓。虎尾庄內各藝妓屋。虎尾庄內各藝妓置屋。虎尾庄內各藝妓屋。虎尾庄內各藝妓屋。虎尾庄內各藝妓

臺灣日日新報

（原稿配達線）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　本日夕刊共十二頁

◎臺灣放送局推薦品

東京中央放送局第一等受信取扱高級品

清澄閘 新ナショナル受信機

National

2球一式付	¥45.00
4球一式付	¥60.00
5球一式付	¥80.00
6球セット	¥85.00

自動車に御入用の方は自社にて御取付致します

五月七日より十三日まで（一週間）喜久食堂

景品

一等　金參拾圓
二等　金壹拾圓
三等　金五拾錢
四等　金壹拾錢
五等　金貳拾錢
六等　金壹拾錢
七等　金五拾錢

東光石鹸洗濯

東光石鹸

臺灣日日新報社

新國家滿洲國

表紙多色グラビヤ刷寫眞グラビヤ色刷
隨裁四六四倍二十五頁定價金二十錢送料四錢

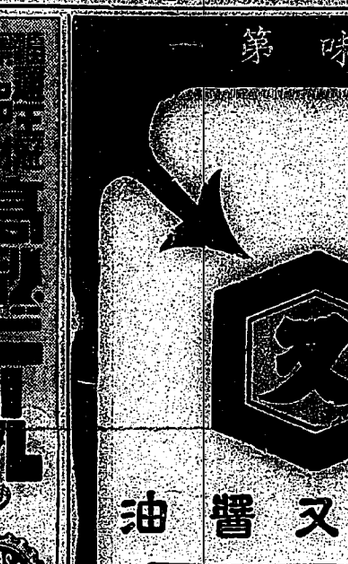
發行所　臺灣日日新報社

第一味香

超越！

亀甲又醤油

南臺北臺　近藤商會



賣出中の滿員の御禮に尚本日より向ふ十日間

アサヒ其他ビール四十錢均一

カフエータイガー

臺灣に製氷の統制に就て 同業組合の意義に鑑みたい

どうやら夜間も蚊まって、昼は暑さに夏のシーズンに入つたして行かつづくこの炎天の續き、氷屋やものは何といつても氷で、氷の売れ行きの如何に大衆の生活に影響する所大なるかは今更喋々を要しない。氷を絶つことは出來ぬ氷屋にとつては生きて行けぬといふのが實際の生活である。從つて製氷に於ける氷問題は同なり重大性を持つもので、内地や朝鮮などは帶地帶は異帶地と同一な經營や價格を以てしては渡る場合なしとしない。故に本人は此際依料用として、殊に台灣川としての氷についてその製造上及び販賣上の見地から檢討し、當局の製氷統制の問題に臨及いたしたいと思ふ。

氷の問題は種々、更言すれば、やや繰返される嫌ひしい問題である。製氷業は一年十二ケ月を通算して月の續きで取り扱さうとする氷物たる性質をもつ外、夏期の氷需要が依料用に偏じ冬期の非常に減則に通り越きあり、從つてこれを何時迄も無統制放任主義の儘で放ておく訳は出來ない向きと思ふ。現在本島には製氷會社の數は、現在一萬餘の生業者約二千噸、製資九百萬圓と聞くが、これらの多くは製氷會社からボロイ儲けはない、唯だ一位の組織の算盤から、噸牛や二噸位の小工場が亂立されそれが原因で製氷價格の引下げと言ふ難なくやいせるやうに切くべきである。從前が製氷業の官營なんかも思ひ付きかも知れない、とに角いづれかに統制する必が肝要であると信ずる。現に資本主義、自由經濟の烈しいアメリカでさへ、製氷業は多く組合國營氷價は相當の統制を要するステートが多い。我國でも内地では本年一月氷を重要工業品に指定し從來の任意組合を改て東京の同業組合の誕生を始め東北、關西名古屋、京阪神、中國、北九州等に續々設立され以て價格及び販賣地區の協定等に勞めてゐる。

台灣の製氷業者が、斯ういふ意味で同業組合を組織し、同組合法による統制を受けんとするは先づ自然の成行きと申すべきで當然の為ちであらう、從前の氷が今までの如く粗製濫造で消費者級に取つては決して喜ぶべき事柄ではない。だから組合法による強制加入によつて全島の製氷業者に統一ある規律あり方針の下に無理のない生産をやらせる一方、當局に於ては充分なる監督指導を行使し、工場の能率をあげ無駄な廢費や販賣上の手數等を避けさせれば勞ひ生産費も下つて世人の爲へる販賣價格の不服といふことなどは決してあり得ない。又その器は當局當事の腕能により所謂製造價格を適正に制止として勞利を取り入る正な價格を維持してゆくことであらうから生産者にも、消費者にも共に好いことになつてゐらう。

五

今月の同業組合は、次して利益のみを目標とするトラストではないのであつて社會的意義を多分に持つことを忘れてはならぬ。氷を單に物品と認めて其の組合を非難攻撃するといふが如きは、氷業者の私腹のみ肥させやうとする為めでは決してない。

この組合により業者間に統制あり且つ適切なる經營を行はしめて大いに社會大衆の爲めにも役立たせやうとの立法上の意思が力強く働いてゐるのである。故に此の間題から今後其價化した場合、當局も當業者も同業組合法の精神をよく理解し、社會大衆に對する立場を忘ることなきことを望まねばならぬ。この根本さへ明かになつて居れば本問題に對する當局が二になつたり氷價の問題で消費者を怒らせる樣なことは起つて來まいと考へられる。

上海爆彈事件の犯人は鮮人尹奉吉

容疑者安昌廣以下十一名逮捕 六日陸軍省から發表

【東京六日發電通】陸軍省は六日午後四時上海爆彈事件犯人に關し左の如く發表した（本事件の犯人關係は揭載禁止の所六日陸軍省發表に限り解禁となる）

一、本事件の犯人關係は慶尚南道禮山郡德山面柿栗里一三九、現住上海佛租界勤勞尹奉吉明治四十年五月二十九日生

二、本人は四月二十九日午前十一時四十分頃式場後方群集中より現はれ所持の爆彈を式臺に投擲し白川大將、野村中將、植田中將、重光公使、村井總領事、河端貞次氏等に重輕傷を負はしその內河端氏を死に至らしめたり

三、犯人は即座に逮捕し憲兵隊に留置中なりしが、我國の法律に依り取調べの結果、本人は四月二十九日上海を去り更に四月三十日上海に歸來し、五月一日上海を去り更に五月三日上海に歸來し、五月五日上海を去り更に五月六日上海に歸來し、五月七日上海を去り更に五月八日上海に歸來し、五月九日上海を去り更に五月十日上海に歸來し、五月十一日上海を去り更に五月十二日上海に歸來し、五月十三日上海を去り更に五月十四日上海に歸來し、五月十五日上海を去り更に五月十六日上海に歸來し、五月十七日上海を去り更に五月十八日上海に歸來し、五月十九日上海を去り更に五月二十日上海に歸來し、五月二十一日上海を去り更に五月二十二日上海に歸來し、五月二十三日上海を去り更に五月二十四日上海に歸來し、五月二十五日上海を去り更に五月二十六日上海に歸來し、五月二十七日上海を去り更に五月二十八日上海に歸來し、五月二十九日上海を去り更に五月三十日上海に歸來し、五月三十一日上海を去り更に六月一日上海に歸來し、六月二日上海を去り更に六月三日上海に歸來し、六月四日上海を去り更に六月五日上海に歸來し、六月六日上海を去り更に六月七日上海に歸來し、六月八日上海を去り更に六月九日上海に歸來し、六月十日上海を去り更に六月十一日上海に歸來し、六月十二日上海を去り更に六月十三日上海に歸來し、六月十四日上海を去り更に六月十五日上海に歸來し、六月十六日上海を去り更に六月十七日上海に歸來し、六月十八日上海を去り更に六月十九日上海に歸來し、六月二十日上海を去り更に六月二十一日上海に歸來し、六月二十二日上海を去り更に六月二十三日上海に歸來し、六月二十四日上海を去り更に六月二十五日上海に歸來し、六月二十六日上海を去り更に六月二十七日上海に歸來し、六月二十八日上海を去り更に六月二十九日上海に歸來し、六月三十日上海を去り更に七月一日上海に歸來し、七月二日上海を去り更に七月三日上海に歸來し、七月四日上海を去り更に七月五日上海に歸來し、七月六日上海を去り更に七月七日上海に歸來し、七月八日上海を去り更に七月九日上海に歸來し、七月十日上海を去り更に七月十一日上海に歸來し、七月十二日上海を去り更に七月十三日上海に歸來し、七月十四日上海を去り更に七月十五日上海に歸來し、七月十六日上海を去り更に七月十七日上海に歸來し、七月十八日上海を去り更に七月十九日上海に歸來し、七月二十日上海を去り更に七月二十一日上海に歸來し、七月二十二日上海を去り更に七月二十三日上海に歸來し、七月二十四日上海を去り更に七月二十五日上海に歸來し、七月二十六日上海を去り更に七月二十七日上海に歸來し、七月二十八日上海を去り更に七月二十九日上海に歸來し、七月三十日上海を去り更に八月一日上海に歸來し、八月二日上海を去り更に八月三日上海に歸來し、八月四日上海を去り更に八月五日上海に歸來し、八月六日上海を去り更に八月七日上海に歸來し、八月八日上海を去り更に八月九日上海に歸來し、八月十日上海を去り更に八月十一日上海に歸來し、八月十二日上海を去り更に八月十三日上海に歸來し、八月十四日上海を去り更に八月十五日上海に歸來し、八月十六日上海を去り更に八月十七日上海に歸來し、八月十八日上海を去り更に八月十九日上海に歸來し、八月二十日上海を去り更に八月二十一日上海に歸來し、八月二十二日上海を去り更に八月二十三日上海に歸來し、八月二十四日上海を去り更に八月二十五日上海に歸來し、八月二十六日上海を去り更に八月二十七日上海に歸來し、八月二十八日上海を去り更に八月二十九日上海に歸來し、八月三十日上海を去り更に九月一日上海に歸來し、九月二日上海を去り更に九月三日上海に歸來し、九月四日上海を去り更に九月五日上海に歸來し、九月六日上海を去り更に九月七日上海に歸來し、九月八日上海を去り更に九月九日上海に歸來し、九月十日上海を去り更に九月十一日上海に歸來し、九月十二日上海を去り更に九月十三日上海に歸來し、九月十四日上海を去り更に九月十五日上海に歸來し、九月十六日上海を去り更に九月十七日上海に歸來し、九月十八日上海を去り更に九月十九日上海に歸來し、九月二十日上海を去り更に九月二十一日上海に歸來し、九月二十二日上海を去り更に九月二十三日上海に歸來し、九月二十四日上海を去り更に九月二十五日上海に歸來し、九月二十六日上海を去り更に九月二十七日上海に歸來し、九月二十八日上海を去り更に九月二十九日上海に歸來し、九月三十日上海を去り更に十月一日上海に歸來し、十月二日上海を去り更に十月三日上海に歸來し、十月四日上海を去り更に十月五日上海に歸來し、十月六日上海を去り更に十月七日上海に歸來し、十月八日上海を去り更に十月九日上海に歸來し、十月十日上海を去り更に十月十一日上海に歸來し、十月十二日上海を去り更に十月十三日上海に歸來し、十月十四日上海を去り更に十月十五日上海に歸來し、十月十六日上海を去り更に十月十七日上海に歸來し、十月十八日上海を去り更に十月十九日上海に歸來し、十月二十日上海を去り更に十月二十一日上海に歸來し、十月二十二日上海を去り更に十月二十三日上海に歸來し、十月二十四日上海を去り更に十月二十五日上海に歸來し、十月二十六日上海を去り更に十月二十七日上海に歸來し、十月二十八日上海を去り更に十月二十九日上海に歸來し、十月三十日上海を去り更に十一月一日上海に歸來し、十一月二日上海を去り更に十一月三日上海に歸來し、十一月四日上海を去り更に十一月五日上海に歸來し、十一月六日上海を去り更に十一月七日上海に歸來し、十一月八日上海を去り更に十一月九日上海に歸來し、十一月十日上海を去り更に十一月十一日上海に歸來し、十一月十二日上海を去り更に十一月十三日上海に歸來し、十一月十四日上海を去り更に十一月十五日上海に歸來し、十一月十六日上海を去り更に十一月十七日上海に歸來し、十一月十八日上海を去り更に十一月十九日上海に歸來し、十一月二十日上海を去り更に十一月二十一日上海に歸來し、十一月二十二日上海を去り更に十一月二十三日上海に歸來し、十一月二十四日上海を去り更に十一月二十五日上海に歸來し、十一月二十六日上海を去り更に十一月二十七日上海に歸來し、十一月二十八日上海を去り更に十一月二十九日上海に歸來し、十一月三十日上海を去り更に十二月一日上海に歸來し、十二月二日上海を去り更に十二月三日上海に歸來し、十二月四日上海を去り更に十二月五日上海に歸來し、十二月六日上海を去り更に十二月七日上海に歸來し、十二月八日上海を去り更に十二月九日上海に歸來し、十二月十日上海を去り更に十二月十一日上海に歸來し、十二月十二日上海を去り更に十二月十三日上海に歸來し、十二月十四日上海を去り更に十二月十五日上海に歸來し、十二月十六日上海を去り更に十二月十七日上海に歸來し、十二月十八日上海を去り更に十二月十九日上海に歸來し、十二月二十日上海を去り更に十二月二十一日上海に歸來し、十二月二十二日上海を去り更に十二月二十三日上海に歸來し、十二月二十四日上海を去り更に十二月二十五日上海に歸來し、十二月二十六日上海を去り更に十二月二十七日上海に歸來し、十二月二十八日上海を去り更に十二月二十九日上海に歸來し、十二月三十日上海を去り更に十二月三十一日上海に歸來し、十二月三十二日上海を去り更に十二月三十三日上海に歸來し、十二月三十四日上海を去り更に十二月三十五日上海に歸來し、十二月三十六日上海を去り更に十二月三十七日上海に歸來し、十二月三十八日上海を去り更に十二月三十九日上海に歸來し、十二月四十日上海を去り更に十二月四十一日上海に歸來し、十二月四十二日上海を去り更に十二月四十三日上海に歸來し、十二月四十四日上海を去り更に十二月四十五日上海に歸來し、十二月四十六日上海を去り更に十二月四十七日上海に歸來し、十二月四十八日上海を去り更に十二月四十九日上海に歸來し、十二月五十日上海を去り更に十二月五十一日上海に歸來し、十二月五十二日上海を去り更に十二月五十三日上海に歸來し、十二月五十四日上海を去り更に十二月五十五日上海に歸來し、十二月五十六日上海を去り更に十二月五十七日上海に歸來し、十二月五十八日上海を去り更に十二月五十九日上海に歸來し、十二月六十日上海を去り更に十二月六十一日上海に歸來し、十二月六十二日上海を去り更に十二月六十三日上海に歸來し、十二月六十四日上海を去り更に十二月六十五日上海に歸來し、十二月六十六日上海を去り更に十二月六十七日上海に歸來し、十二月六十八日上海を去り更に十二月六十九日上海に歸來し、十二月七十日上海を去り更に十二月七十一日上海に歸來し、十二月七十二日上海を去り更に十二月七十三日上海に歸來し、十二月七十四日上海を去り更に十二月七十五日上海に歸來し、十二月七十六日上海を去り更に十二月七十七日上海に歸來し、十二月七十八日上海を去り更に十二月七十九日上海に歸來し、十二月八十日上海を去り更に十二月八十一日上海に歸來し、十二月八十二日上海を去り更に十二月八十三日上海に歸來し、十二月八十四日上海を去り更に十二月八十五日上海に歸來し、十二月八十六日上海を去り更に十二月八十七日上海に歸來し、十二月八十八日上海を去り更に十二月八十九日上海に歸來し、十二月九十日上海を去り更に十二月九十一日上海に歸來し、十二月九十二日上海を去り更に十二月九十三日上海に歸來し、十二月九十四日上海を去り更に十二月九十五日上海に歸來し、十二月九十六日上海を去り更に十二月九十七日上海に歸來し、十二月九十八日上海を去り更に十二月九十九日上海に歸來し、十二月百日上海を去り更に十二月百一日上海に歸來し、十二月百二日上海を去り更に十二月百三日上海に歸來し、十二月百四日上海を去り更に十二月百五日上海に歸來し、十二月百六日上海を去り更に十二月百七日上海に歸來し、十二月百八日上海を去り更に十二月百九日上海に歸來し、十二月百十日上海を去り更に十二月百十一日上海に歸來し、十二月百十二日上海を去り更に十二月百十三日上海に歸來し、十二月百十四日上海を去り更に十二月百十五日上海に歸來し、十二月百十六日上海を去り更に十二月百十七日上海に歸來し、十二月百十八日上海を去り更に十二月百十九日上海に歸來し、十二月百二十日上海を去り更に十二月百二十一日上海に歸來し、十二月百二十二日上海を去り更に十二月百二十三日上海に歸來し、十二月百二十四日上海を去り更に十二月百二十五日上海に歸來し、十二月百二十六日上海を去り更に十二月百二十七日上海に歸來し、十二月百二十八日上海を去り更に十二月百二十九日上海に歸來し、十二月百三十日上海を去り更に十二月百三十一日上海に歸來し、十二月百三十二日上海を去り更に十二月百三十三日上海に歸來し、十二月百三十四日上海を去り更に十二月百三十五日上海に歸來し、十二月百三十六日上海を去り更に十二月百三十七日上海に歸來し、十二月百三十八日上海を去り更に十二月百三十九日上海に歸來し、十二月百四十日上海を去り更に十二月百四十一日上海に歸來し、十二月百四十二日上海を去り更に十二月百四十三日上海に歸來し、十二月百四十四日上海を去り更に十二月百四十五日上海に歸來し、十二月百四十六日上海を去り更に十二月百四十七日上海に歸來し、十二月百四十八日上海を去り更に十二月百四十九日上海に歸來し、十二月百五十日上海を去り更に十二月百五十一日上海に歸來し、十二月百五十二日上海を去り更に十二月百五十三日上海に歸來し、十二月百五十四日上海を去り更に十二月百五十五日上海に歸來し、十二月百五十六日上海を去り更に十二月百五十七日上海に歸來し、十二月百五十八日上海を去り更に十二月百五十九日上海に歸來し、十二月百六十日上海を去り更に十二月百六十一日上海に歸來し、十二月百六十二日上海を去り更に十二月百六十三日上海に歸來し、十二月百六十四日上海を去り更に十二月百六十五日上海に歸來し、十二月百六十六日上海を去り更に十二月百六十七日上海に歸來し、十二月百六十八日上海を去り更に十二月百六十九日上海に歸來し、十二月百七十日上海を去り更に十二月百七十一日上海に歸來し、十二月百七十二日上海を去り更に十二月百七十三日上海に歸來し、十二月百七十四日上海を去り更に十二月百七十五日上海に歸來し、十二月百七十六日上海を去り更に十二月百七十七日上海に歸來し、十二月百七十八日上海を去り更に十二月百七十九日上海に歸來し、十二月百八十日上海を去り更に十二月百八十一日上海に歸來し、十二月百八十二日上海を去り更に十二月百八十三日上海に歸來し、十二月百八十四日上海を去り更に十二月百八十五日上海に歸來し、十二月百八十六日上海を去り更に十二月百八十七日上海に歸來し、十二月百八十八日上海を去り更に十二月百八十九日上海に歸來し、十二月百九十日上海を去り更に十二月百九十一日上海に歸來し、十二月百九十二日上海を去り更に十二月百九十三日上海に歸來し、十二月百九十四日上海を去り更に十二月百九十五日上海に歸來し、十二月百九十六日上海を去り更に十二月百九十七日上海に歸來し、十二月百九十八日上海を去り更に十二月百九十九日上海に歸來し、十二月二百日上海を去り更に十二月二百一日上海に歸來し、十二月二百二日上海を去り更に十二月二百三日上海に歸來し、十二月二百四日上海を去り更に十二月二百五日上海に歸來し、十二月二百六日上海を去り更に十二月二百七日上海に歸來し、十二月二百八日上海を去り更に十二月二百九日上海に歸來し、十二月二百十日上海を去り更に十二月二百十一日上海に歸來し、十二月二百十二日上海を去り更に十二月二百十三日上海に歸來し、十二月二百十四日上海を去り更に十二月二百十五日上海に歸來し、十二月二百十六日上海を去り更に十二月二百十七日上海に歸來し、十二月二百十八日上海を去り更に十二月二百十九日上海に歸來し、十二月二百二十日上海を去り更に十二月二百二十一日上海に歸來し、十二月二百二十二日上海を去り更に十二月二百二十三日上海に歸來し、十二月二百二十四日上海を去り更に十二月二百二十五日上海に歸來し、十二月二百二十六日上海を去り更に十二月二百二十七日上海に歸來し、十二月二百二十八日上海を去り更に十二月二百二十九日上海に歸來し、十二月二百三十日上海を去り更に十二月二百三十一日上海に歸來し、十二月二百三十二日上海を去り更に十二月二百三十三日上海に歸來し、十二月二百三十四日上海を去り更に十二月二百三十五日上海に歸來し、十二月二百三十六日上海を去り更に十二月二百三十七日上海に歸來し、十二月二百三十八日上海を去り更に十二月二百三十九日上海に歸來し、十二月二百四十日上海を去り更に十二月二百四十一日上海に歸來し、十二月二百四十二日上海を去り更に十二月二百四十三日上海に歸來し、十二月二百四十四日上海を去り更に十二月二百四十五日上海に歸來し、十二月二百四十六日上海を去り更に十二月二百四十七日上海に歸來し、十二月二百四十八日上海を去り更に十二月二百四十九日上海に歸來し、十二月二百五十日上海を去り更に十二月二百五十一日上海に歸來し、十二月二百五十二日上海を去り更に十二月二百五十三日上海に歸來し、十二月二百五十四日上海を去り更に十二月二百五十五日上海に歸來し、十二月二百五十六日上海を去り更に十二月二百五十七日上海に歸來し、十二月二百五十八日上海を去り更に十二月二百五十九日上海に歸來し、十二月二百六十日上海を去り更に十二月二百六十一日上海に歸來し、十二月二百六十二日上海を去り更に十二月二百六十三日上海に歸來し、十二月二百六十四日上海を去り更に十二月二百六十五日上海に歸來し、十二月二百六十六日上海を去り更に十二月二百六十七日上海に歸來し、十二月二百六十八日上海を去り更に十二月二百六十九日上海に歸來し、十二月二百七十日上海を去り更に十二月二百七十一日上海に歸來し、十二月二百七十二日上海を去り更に十二月二百七十三日上海に歸來し、十二月二百七十四日上海を去り更に十二月二百七十五日上海に歸來し、十二月二百七十六日上海を去り更に十二月二百七十七日上海に歸來し、十二月二百七十八日上海を去り更に十二月二百七十九日上海に歸來し、十二月二百八十日上海を去り更に十二月二百八十一日上海に歸來し、十二月二百八十二日上海を去り更に十二月二百八十三日上海に歸來し、十二月二百八十四日上海を去り更に十二月二百八十五日上海に歸來し、十二月二百八十六日上海を去り更に十二月二百八十七日上海に歸來し、十二月二百八十八日上海を去り更に十二月二百八十九日上海に歸來し、十二月二百九十日上海を去り更に十二月二百九十一日上海に歸來し、十二月二百九十二日上海を去り更に十二月二百九十三日上海に歸來し、十二月二百九十四日上海を去り更に十二月二百九十五日上海に歸來し、十二月二百九十六日上海を去り更に十二月二百九十七日上海に歸來し、十二月二百九十八日上海を去り更に十二月二百九十九日上海に歸來し、十二月三百日上海を去り更に十二月三百一日上海に歸來し、十二月三百二日上海を去り更に十二月三百三日上海に歸來し、十二月三百四日上海を去り更に十二月三百五日上海に歸來し、十二月三百六日上海を去り更に十二月三百七日上海に歸來し、十二月三百八日上海を去り更に十二月三百九日上海に歸來し、十二月三百十日上海を去り更に十二月三百十一日上海に歸來し、十二月三百十二日上海を去り更に十二月三百十三日上海に歸來し、十二月三百十四日上海を去り更に十二月三百十五日上海に歸來し、十二月三百十六日上海を去り更に十二月三百十七日上海に歸來し、十二月三百十八日上海を去り更に十二月三百十九日上海に歸來し、十二月三百二十日上海を去り更に十二月三百二十一日上海に歸來し、十二月三百二十二日上海を去り更に十二月三百二十三日上海に歸來し、十二月三百二十四日上海を去り更に十二月三百二十五日上海に歸來し、十二月三百二十六日上海を去り更に十二月三百二十七日上海に歸來し、十二月三百二十八日上海を去り更に十二月三百二十九日上海に歸來し、十二月三百三十日上海を去り更に十二月三百三十一日上海に歸來し、十二月三百三十二日上海を去り更に十二月三百三十三日上海に歸來し、十二月三百三十四日上海を去り更に十二月三百三十五日上海に歸來し、十二月三百三十六日上海を去り更に十二月三百三十七日上海に歸來し、十二月三百三十八日上海を去り更に十二月三百三十九日上海に歸來し、十二月三百四十日上海を去り更に十二月三百四十一日上海に歸來し、十二月三百四十二日上海を去り更に十二月三百四十三日上海に歸來し、十二月三百四十四日上海を去り更に十二月三百四十五日上海に歸來し、十二月三百四十六日上海を去り更に十二月三百四十七日上海に歸來し、十二月三百四十八日上海を去り更に十二月三百四十九日上海に歸來し、十二月三百五十日上海を去り更に十二月三百五十一日上海に歸來し、十二月三百五十二日上海を去り更に十二月三百五十三日上海に歸來し、十二月三百五十四日上海を去り更に十二月三百五十五日上海に歸來し、十二月三百五十六日上海を去り更に十二月三百五十七日上海に歸來し、十二月三百五十八日上海を去り更に十二月三百五十九日上海に歸來し、十二月三百六十日上海を去り更に十二月三百六十一日上海に歸來し、十二月三百六十二日上海を去り更に十二月三百六十三日上海に歸來し、十二月三百六十四日上海を去り更に十二月三百六十五日上海に歸來し、十二月三百六十六日上海を去り更に十二月三百六十七日上海に歸來し、十二月三百六十八日上海を去り更に十二月三百六十九日上海に歸來し、十二月三百七十日上海を去り更に十二月三百七十一日上海に歸來し、十二月三百七十二日上海を去り更に十二月三百七十三日上海に歸來し、十二月三百七十四日上海を去り更に十二月三百七十五日上海に歸來し、十二月三百七十六日上海を去り更に十二月三百七十七日上海に歸來し、十二月三百七十八日上海を去り更に十二月三百七十九日上海に歸來し、十二月三百八十日上海を去り更に十二月三百八十一日上海に歸來し、十二月三百八十二日上海を去り更に十二月三百八十三日上海に歸來し、十二月三百八十四日上海を去り更に十二月三百八十五日上海に歸來し、十二月三百八十六日上海を去り更に十二月三百八十七日上海に歸來し、十二月三百八十八日上海を去り更に十二月三百八十九日上海に歸來し、十二月三百九十日上海を去り更に十二月三百九十一日上海に歸來し、十二月三百九十二日上海を去り更に十二月三百九十三日上海に歸來し、十二月三百九十四日上海を去り更に十二月三百九十五日上海に歸來し、十二月三百九十六日上海を去り更に十二月三百九十七日上海に歸來し、十二月三百九十八日上海を去り更に十二月三百九十九日上海に歸來し、十二月四百日上海を去り更に十二月四百一日上海に歸來し、十二月四百二日上海を去り更に十二月四百三日上海に歸來し、十二月四百四日上海を去り更に十二月四百五日上海に歸來し、十二月四百六日上海を去り更に十二月四百七日上海に歸來し、十二月四百八日上海を去り更に十二月四百九日上海に歸來し、十二月四百十日上海を去り更に十二月四百十一日上海に歸來し、十二月四百十二日上海を去り更に十二月四百十三日上海に歸來し、十二月四百十四日上海を去り更に十二月四百十五日上海に歸來し、十二月四百十六日上海を去り更に十二月四百十七日上海に歸來し、十二月四百十八日上海を去り更に十二月四百十九日上海に歸來し、十二月四百二十日上海を去り更に十二月四百二十一日上海に歸來し、十二月四百二十二日上海を去り更に十二月四百二十三日上海に歸來し、十二月四百二十四日上海を去り更に十二月四百二十五日上海に歸來し、十二月四百二十六日上海を去り更に十二月四百二十七日上海に歸來し、十二月四百二十八日上海を去り更に十二月四百二十九日上海に歸來し、十二月四百三十日上海を去り更に十二月四百三十一日上海に歸來し、十二月四百三十二日上海を去り更に十二月四百三十三日上海に歸來し、十二月四百三十四日上海を去り更に十二月四百三十五日上海に歸來し、十二月四百三十六日上海を去り更に十二月四百三十七日上海に歸來し、十二月四百三十八日上海を去り更に十二月四百三十九日上海に歸來し、十二月四百四十日上海を去り更に十二月四百四十一日上海に歸來し、十二月四百四十二日上海を去り更に十二月四百四十三日上海に歸來し、十二月四百四十四日上海を去り更に十二月四百四十五日上海に歸來し、十二月四百四十六日上海を去り更に十二月四百四十七日上海に歸來し、十二月四百四十八日上海を去り更に十二月四百四十九日上海に歸來し、十二月四百五十日上海を去り更に十二月四百五十一日上海に歸來し、十二月四百五十二日上海を去り更に十二月四百五十三日上海に歸來し、十二月四百五十四日上海を去り更に十二月四百五十五日上海に歸來し、十二月四百五十六日上海を去り更に十二月四百五十七日上海に歸來し、十二月四百五十八日上海を去り更に十二月四百五十九日上海に歸來し、十二月四百六十日上海を去り更に十二月四百六十一日上海に歸來し、十二月四百六十二日上海を去り更に十二月四百六十三日上海に歸來し、十二月四百六十四日上海を去り更に十二月四百六十五日上海に歸來し、十二月四百六十六日上海を去り更に十二月四百六十七日上海に歸來し、十二月四百六十八日上海を去り更に十二月四百六十九日上海に歸來し、十二月四百七十日上海を去り更に十二月四百七十一日上海に歸來し、十二月四百七十二日上海を去り更に十二月四百七十三日上海に歸來し、十二月四百七十四日上海を去り更に十二月四百七十五日上海に歸來し、十二月四百七十六日上海を去り更に十二月四百七十七日上海に歸來し、十二月四百七十八日上海を去り更に十二月四百七十九日上海に歸來し、十二月四百八十日上海を去り更に十二月四百八十一日上海に歸來し、十二月四百八十二日上海を去り更に十二月四百八十三日上海に歸來し、十二月四百八十四日上海を去り更に十二月四百八十五日上海に歸來し、十二月四百八十六日上海を去り更に十二月四百八十七日上海に歸來し、十二月四百八十八日上海を去り更に十二月四百八十九日上海に歸來し、十二月四百九十日上海を去り更に十二月四百九十一日上海に歸來し、十二月四百九十二日上海を去り更に十二月四百九十三日上海に歸來し、十二月四百九十四日上海を去り更に十二月四百九十五日上海に歸來し、十二月四百九十六日上海を去り更に十二月四百九十七日上海に歸來し、十二月四百九十八日上海を去り更に十二月四百九十九日上海に歸來し、十二月五百日上海を去り更に十二月五百一日上海に歸來し、十二月五百二日上海を去り更に十二月五百三日上海に歸來し、十二月五百四日上海を去り更に十二月五百五日上海に歸來し、十二月五百六日上海を去り更に十二月五百七日上海に歸來し、十二月五百八日上海を去り更に十二月五百九日上海に歸來し、十二月五百十日上海を去り更に十二月五百十一日上海に歸來し、十二月五百十二日上海を去り更に十二月五百十三日上海に歸來し、十二月五百十四日上海を去り更に十二月五百十五日上海に歸來し、十二月五百十六日上海を去り更に十二月五百十七日上海に歸來し、十二月五百十八日上海を去り更に十二月五百十九日上海に歸來し、十二月五百二十日上海を去り更に十二月五百二十一日上海に歸來し、十二月五百二十二日上海を去り更に十二月五百二十三日上海に歸來し、十二月五百二十四日上海を去り更に十二月五百二十五日上海に歸來し、十二月五百二十六日上海を去り更に十二月五百二十七日上海に歸來し、十二月五百二十八日上海を去り更に十二月五百二十九日上海に歸來し、十二月五百三十日上海を去り更に十二月五百三十一日上海に歸來し、十二月五百三十二日上海を去り更に十二月五百三十三日上海に歸來し、十二月五百三十四日上海を去り更に十二月五百三十五日上海に歸來し、十二月五百三十六日上海を去り更に十二月五百三十七日上海に歸來し、十二月五百三十八日上海を去り更に十二月五百三十九日上海に歸來し、十二月五百四十日上海を去り更に十二月五百四十一日上海に歸來し、十二月五百四十二日上海を去り更に十二月五百四十三日上海に歸來し、十二月五百四十四日上海を去り更に十二月五百四十五日上海に歸來し、十二月五百四十六日上海を去り更に十二月五百四十七日上海に歸來し、十二月五百四十八日上海を去り更に十二月五百四十九日上海に歸來し、十二月五百五十日上海を去り更に十二月五百五十一日上海に歸來し、十二月五百五十二日上海を去り更に十二月五百五十三日上海に歸來し、十二月五百五十四日上海を去り更に十二月五百五十五日上海に歸來し、十二月五百五十六日上海を去り更に十二月五百五十七日上海に歸來し、十二月五百五十八日上海を去り更に十二月五百五十九日上海に歸來し、十二月五百六十日上海を去り更に十二月五百六十一日上海に歸來し、十二月五百六十二日上海を去り更に十二月五百六十三日上海に歸來し、十二月五百六十四日上海を去り更に十二月五百六十五日上海に歸來し、十二月五百六十六日上海を去り更に十二月五百六十七日上海に歸來し、十二月五百六十八日上海を去り更に十二月五百六十九日上海に歸來し、十二月五百七十日上海を去り更に十二月五百七十一日上海に歸來し、十二月五百七十二日上海を去り更に十二月五百七十三日上海に歸來し、十二月五百七十四日上海を去り更に十二月五百七十五日上海に歸來し、十二月五百七十六日上海を去り更に十二月五百七十七日上海に歸來し、十二月五百七十八日上海を去り更に十二月五百七十九日上海に歸來し、十二月五百八十日上海を去り更に十二月五百八十一日上海に歸來し、十二月五百八十二日上海を去り更に十二月五百八十三日上海に歸來し、十二月五百八十四日上海を去り更に十二月五百八十五日上海に歸來し、十二月五百八十六日上海を去り更に十二月五百八十七日上海に歸來し、十二月五百八十八日上海を去り更に十二月五百八十九日上海に歸來し、十二月五百九十日上海を去り更に十二月五百九十一日上海に歸來し、十二月五百九十二日上海を去り更に十二月五百九十三日上海に歸來し、十二月五百九十四日上海を去り更に十二月五百九十五日上海に歸來し、十二月五百九十六日上海を去り更に十二月五百九十七日上海に歸來し、十二月五百九十八日上海を去り更に十二月五百九十九日上海に歸來し、十二月六百日上海を去り更に十二月六百一日上海に歸來し、十二月六百二日上海を去り更に十二月六百三日上海に歸來し、十二月六百四日上海を去り更に十二月六百五日上海に歸來し、十二月六百六日上海を去り更に十二月六百七日上海に歸來し、十二月六百八日上海を去り更に十二月六百九日上海に歸來し、十二月六百十日上海を去り更に十二月六百十一日上海に歸來し、十二月六百十二日上海を去り更に十二月六百十三日上海に歸來し、十二月六百十四日上海を去り更に十二月六百十五日上海に歸來し、十二月六百十六日上海を去り更に十二月六百十七日上海に歸來し、十二月六百十八日上海を去り更に十二月六百十九日上海に歸來し、十二月六百二十日上海を去り更に十二月六百二十一日上海に歸來し、十二月六百二十二日上海を去り更に十二月六百二十三日上海に歸來し、十二月六百二十四日上海を去り更に十二月六百二十五日上海に歸來し、十二月六百二十六日上海を去り更に十二月六百二十七日上海に歸來し、十二月六百二十八日上海を去り更に十二月六百二十九日上海に歸來し、十二月六百三十日上海を去り更に十二月六百三十一日上海に歸來し、十二月六百三十二日上海を去り更に十二月六百三十三日上海に歸來し、十二月六百三十四日上海を去り更に十二月六百三十五日上海に歸來し、十二月六百三十六日上海を去り更に十二月六百三十七日上海に歸來し、十二月六百三十八日上海を去り更に十二月六百三十九日上海に歸來し、十二月六百四十日上海を去り更に十二月六百四十一日上海に歸來し、十二月六百四十二日上海を去り更に十二月六百四十三日上海に歸來し、十二月六百四十四日上海を去り更に十二月六百四十五日上海に歸來し、十二月六百四十六日上海を去り更に十二月六百四十七日上海に歸來し、十二月六百四十八日上海を去り更に十二月六百四十九日上海に歸來し、十二月六百五十日上海を去り更に十二月六百五十一日上海に歸來し、十二月六百五十二日上海を去り更に十二月六百五十三日上海に歸來し、十二月六百五十四日上海を去り更に十二月六百五十五日上海に歸來し、十二月六百五十六日上海を去り更に十二月六百五十七日上海に歸來し、十二月六百五十八日上海を去り更に十二月六百五十九日上海に歸來し、十二月六百六十日上海を去り更に十二月六百六十一日上海に歸來し、十二月六百六十二日上海を去り更に十二月六百六十三日上海に歸來し、十二月六百六十四日上海を去り更に十二月六百六十五日上海に歸來し、十二月六百六十六日上海を去り更に十二月六百六十七日上海に歸來し、十二月六百六十八日上海を去り更に十二月六百六十九日上海に歸來し、十二月六百七十日上海を去り更に十二月六百七十一日上海に歸來し、十二月六百七十二日上海を去り更に十二月六百七十三日上海に歸來し、十二月六百七十四日上海を去り更に十二月六百七十五日上海に歸來し、十二月六百七十六日上海を去り更に十二月六百七十七日上海に歸來し、十二月六百七十八日上海を去り更に十二月六百七十九日上海に歸來し、十二月六百八十日上海を去り更に十二月六百八十一日上海に歸來し、十二月六百八十二日上海を去り更に十二月六百八十三日上海に歸來し、十二月六百八十四日上海を去り更に十二月六百八十五日上海に歸來し、十二月六百八十六日上海を去り更に十二月六百八十七日上海に歸來し、十二月六百八十八日上海を去り更に十二月六百八十九日上海に歸來し、十二月六百九十日上海を去り更に十二月六百九十一日上海に歸來し、十二月六百九十二日上海を去り更に十二月六百九十三日上海に歸來し、十二月六百九十四日上海を去り更に十二月六百九十五日上海に歸來し、十二月六百九十六日上海を去り更に十二月六百九十七日上海に歸來し、十二月六百九十八日上海を去り更に十二月六百九十九日上海に歸來し、十二月七百日上海を去り更に十二月七百一日上海に歸來し、十二月七百二日上海を去り更に十二月七百三日上海に歸來し、十二月七百四日上海を去り更に十二月七百五日上海に歸來し、十二月七百六日上海を去り更に十二月七百七日上海に歸來し、十二月七百八日上海を去り更に十二月七百九日上海に歸來し、十二月七百十日上海を去り更に十二月七百十一日上海に歸來し、十二月七百十二日上海を去り更に十二月七百十三日上海に歸來し、十二月七百十四日上海を去り更に十二月七百十五日上海に歸來し、十二月七百十六日上海を去り更に十二月七百十七日上海に歸來し、十二月七百十八日上海を去り更に十二月七百十九日上海に歸來し、十二月七百二十日上海を去り更に十二月七百二十一日上海に歸來し、十二月七百二十二日上海を去り更に十二月七百二十三日上海に歸來し、十二月七百二十四日上海を去り更に十二月七百二十五日上海に歸來し、十二月七百二十六日上海を去り更に十二月七百二十七日上海に歸來し、十二月七百二十八日上海を去り更に十二月七百二十九日上海に歸來し、十二月七百三十日上海を去り更に十二月七百三十一日上海に歸來し、十二月七百

二つの心を結ぶ死……
女は身投げ　男は首吊り
處を別にあの世へ！
男も運河に飛込んだが泳ぎを知つて死切れず（南署）

【臺南電話】六日午前五時頃安南郡安南庄大字佳里興の鹽田に黒の盛裝に身を裹んだ若い男女が抱き合つて死んでゐるのを通行人が發見し、直ちに佳里庄役場に届出でた、それから間もなく安南郡河北國警分隊から警部補外數名が出張して檢視を行つた所、右兩名は昨夜二時頃抱き合つて同海岸に來り、女は鹽田の堤防上から飛込んだが泳ぎを知らず、男は之を救はんとして共に溺死したものらしい、女の屍體は腰部に赤色の腰卷を卷き、男は白の襦袢を着用してゐるが、兩名とも所持品は何も發見されず、又兩名は何處の何人なるかも判明しない、尚兩名は昨夜二時頃迄は鹽田の堤防上に居たのを目撃した者があるが、其後の事は全く判明しない、兩名の死體は目下同庄の某所に安置してある

統制力なき
花蓮港野菜市場
盛んに行はれる場外取引
街役場は手數料で滿足

花蓮港街役場の經營せる野菜市場は從來から何等の統制もなく成り行きに放任されてゐたらしい、それで昭和六年の四月から本年三月までの取扱ひ高が七十六萬八千四百十五キロ、價格三萬七千二十四圓であるから一ケ年平均六萬四千四十キロ、價格三千八十五圓となる、三月中は七萬八千四百四キロ、價格三千七百二十二圓で數量は平均月に比し增加してゐるが價格では減じてゐる、この數字は出荷者の關係に支配されたものであらう、そこで一日平均を算出してみると二千百三十五キロ、價格百二圓八十錢となり、八ロ參千の人口を有する街としては餘りにも寂寥たる感がある、尚ほ一萬三千の人口を有する鳳林街では一日平均二百圓以上の賣上げがあるといふ

印を僞造し
苦力券濫發行使
一名嘉義署で逮捕

【嘉義電話】中申三九名出れ兒(二)回所管東甲二五四出納簿(二)この點は去る四月二十一日共謀して嘉義市西門町二の五二印刷業某方に潛入して苦力券の印刷を依頼した事實百圓の苦力券を發行使用した事實を自白した、依つて同日夜鹿港より出張して四日後都下高雄に護送した、尚ほ本件に關係ある者數名ありと目されてゐる

自動車と衝突
自轉車は滅茶滅茶

【嘉義電話】嘉義市鹿町通一丁目所在の自動車を運轉手兼助手が運轉して四日後都下高雄市に向ひ進行中、先年秋山虎六監獄長(現少將)ある、先年秋山虎六監獄長(現少將)時代に監獄部に勤務して居た關係上、同監獄の自轉車と衝突、兩者共に損害を與へたが、自轉車は大破した

軍艦北上から
NO.2 攻防演習參觀記
『敵艦見ゆ』との信號到り
さながら實戰氣分横溢

加藤生

松永要　港務部先任參謀の職内で、艦隊長の指揮する動作部に從かれた、第二演習に於て初めて經驗を見學するのは實は今回始めてである、先年秋山虎六監獄長(現少將)時代に監獄部に勤務して居た關係上、同監獄の自轉車と衝突、兩者共に損害を與へたが、自轉車は大破した

敏速に　艦内は一つて行く、勝つ為に、勝利の為に、全員が一つになつて行く、勝つ為に、勝利の為に、全員が一つになつて行く、勝つ為に、勝利の為に、全員が一つになつ

ラヂオ六甲

今日の番組

五月七日(土)

J·F·A·K

午前の部

【一一·〇〇】開の挨拶ハワヰ通信(今日のお天氣のお知らせ)(臺北のみ)【一一·一〇】海事講話(臺北のみ)【一一·二〇】海事講話(臺北のみ)【一一·三〇】時報(臺北のみ)【一一·四〇】ハワヰ通信(臺北のみ)【一一·五〇】ハワヰ通信(臺北のみ)【一二·〇〇】ハワヰ通信(臺北のみ)

午後の部

【〇·〇〇】放送開始ニュース【〇·一〇】番組紹介

夜間の部

【六·三〇】子供の時間マンドリン四重奏(アルトランプ作曲)二、春の朝(フンソリ作曲)三、スペイン舞曲(モンコフスキー作曲)四、行進曲(モガドール作曲)五、ボレロ(ワルツル作曲)六、物語(サルトリ作曲)クワルテット・ヒマンドリン・ギター・ハープ(第一マンドリン四重奏)一、マンドリン村田敏之　ギター吉宗一男

【七·〇〇】趣味講座「大倉御殿の栽培について」吉田正義(臺北のみ)【七·三〇】講演レヴュー(大阪)(臺北のみ)一、序曲(前日本都樂團指揮者近藤光作曲)二、京の四季(野口雨情作詞、佐藤千夜子作曲)三、夢曲(千手前に花田比露思作詞、菊仲素秋作曲)四、新民謡「おはん小唄」(吉田宗吉作詞、竹内平吉作曲)五、我大夫(一升の内容量門語)(吉野路の段(大森痴雪作詞野澤喜代作曲)六、今様河内音頭(八尾市内有志作詞、林屋佐吉作曲)七、絵由良(芳野千代作詞、佐吉作曲)

【八·三〇】映畫物語(臺北)【八·五〇】「孤獨の子」(森雅治作)

【九·二〇】八時報と氣象通報臺北觀測所發表(臺北のみ)放送局報知ニュース(臺北のみ)八放送局消息(臺北のみ)公示事項報知(臺南のみ)公示事項報知(臺北のみ)ラヂオ・ニュース

【一〇·〇〇】今日の番組豫報並立六甲の例によりうどん屋と前原の胡蘆和へ

歌謡レヴュー

(大阪より中機、臺北のみ)

午後七時二十分

▲麗人讃歌　これは臺北の新しい都式のレヴューで、今日本各地で最も流行して居る「銀座行進曲」も云ふべき、現代の都會人の讃歌である。

一、京の四季(野口雨情作詞、佐吉作曲)二、夢曲(千手前)、花田比露思作曲)三、新民謡「おはん小唄」(吉田宗吉作曲)四、新民謡「おはん小唄」(吉田宗吉作曲)五、我大夫(一升の内容量門語)(吉野路の段(大森痴雪作詞野澤喜代作曲)六、今様河内音頭(八尾市内有志作詞、林屋佐吉作曲)七、絵由良(芳野千代作詞、佐吉作曲)

▲大倉御殿の栽培について　吉田氏は臺北觀測所長の傍ら、殊に大倉御殿の栽培については第一の適任者である。昨年實驗の結果にも相當の成績を擧げて居るが、今年は更に大規模に栽培する豫定で、其の栽培法に就いて講演する。

▲ラヂオ・ニュース　今日の番組豫報並立六甲の例によりうどん屋と前原の胡蘆和へ

趣味講座

【午後七時より】

大倉御殿の栽培について　吉田正義

吉田氏は臺北觀測所長の傍ら、殊に大倉御殿の栽培については第一の適任者である。昨年實驗の結果にも相當の成績を擧げて居るが、今年は更に大規模に栽培する豫定で、其の栽培法に就いて講演する。

家庭料理獻立

【午前十時】(臺北)

西瓜附たり氷菓子

▲番組變更と臺北　一、演花節　唄　鶴藤三郎社中　二、三曲長歌　宮川左近　細川清次郎社中　三、三曲長歌　宮川左近　細川清次郎社中　四、三曲長歌　宮川左近　細川清次郎社中　宮川左近師の獨立獨演は臺北でも云ふべき、關西演藝界の獨立組とも云ふべき、細川清次郎社中の獨立獨演に變更した。

▲ラヂオ・ニュース　今日の番組豫報並立六甲の例によりうどん屋と前原の胡蘆和へ

講演

【午後七時三十分】

一、三味線獨奏(明治大正)　宮川左近

二、三曲長歌(明治大正)　宮川左近　吉田明月　箏子

イ、三明十數(明治大正)　吉田明月　箏子

ロ、三曲長歌(明治大正)　宮川左近　吉田明月　箏子

ハ、サンユウン行進曲　宮川左近　吉田明月　箏子

宮川左近師の獨立獨演に變更した細川清次郎社中の獨立組とも云ふべき、關西演藝界

滿洲國に放て

製糖業は起ちぬやう

農業は起ちぬやう

製糖業今當より厲行

外米百萬石の

買付完了

新蓬萊の走り

今年は遲れて半日頃

八九年前の

三井を一丸とし

臺灣材界統制

今後はさうしても

工業臺灣建設う

水電工事は當然に進捗

電力問題も語る

仕向地の不況で

春茶は悲觀さる

出廻り期に直面して

茶商は防衛の手段

全部移出は月末

四十萬斤見込

臺灣一工場

臺北製糖の實績

歩留一割分餘

記載用語統一案

倉庫證券の

郵船の

大連航路配

技競納奉社神功建
像群クツチレスア

選豫クツピンリオ

るをかに葉青
に場技競天帝に

新たに生れた臺灣新記錄

△女子八〇米障碍一二秒二蕭氏織△女子一〇〇米一二秒九林氏月雲△女子二〇〇米二七秒四横山文子△女子槍投二八米九四簡氏腕△女子三段跳一一米一五林氏月雲△女子砲丸投八米六八簡氏腕△二五〇〇米四分一九秒四國洋利明△槍投五八米一五柏分忠一

若鮎の如く
躍跳する人々

1 織田幹雄に三十五米強を教げたが惜しくもアウトとなつた帝大期待の選手

2 女子砲丸に堂々新記錄を作つた簡氏腕嬢(彰化高女)

3 女子八〇米障碍決勝……二番目のハードルに躓ける簡氏織嬢(彰化女二年)の本多清美嬢(花蓮女二年)の諏山初子嬢(北一女)

4 一九三二年優勝女子スプリント界を代表するトリオ……向つてから林氏月雲嬢(彰化女)蕭氏織嬢(彰化女)横山文子嬢(基隆女)

5 女子一〇〇米決勝……左から二番目の林氏月雲嬢(彰化女)が一二秒の新記錄で一着に入つた

6 男子一〇〇米決勝……左から二番目の人が一〇秒四で一着に入つた

7 バトン・タッチ……女子四百米競走決勝三番走者からアンカーへのタッチ……基隆高女三番走者田尻嬢からアンカー横山嬢へバトンを渡す刹那……手前のコースは北一女のアンカー新井嬢、インコースは彰化高女のアンカー林氏月雲嬢

8 二百米に優勝新記錄を作つた二人出の喝采利明君

9 第教に投じて高飛びしやすいレートで優勝に輝いた帝大の選手

臺灣野球史

臺灣野球界の先輩、故人となつた中馬庚氏の遺著、故人の令息中馬馨氏の手によつて出版されたことは既報の通りである。

私が明大野球チームと共に中馬邸へ行つたとき、湯川充雄君も此から特に薦められて同行したが、故人の若い時の事蹟、殊に臺灣へ行くまでの經歴の一部を湯川君はヨコタ何やらプリントの校正をしてゐた。時間が午に至ることもあつたやうだ。私はその經たざる間、ひまつぶしにと、ヤツシュな同君を捉へて、「何かこの中に面白い話はないか」と聞いた「臺灣野球史」が發賣と聞けばそれに飛んで行くと云つてゐるのである。

×

編を分つこと十五……初期時代、中部時代、南部時代、東部時代と地方に分つて時代の變遷と共に移り行く臺灣野球界の歴史と、各地方の歴史とを正確な記錄によつて年代順に編纂してある。從つて各時代に於ける選手の活躍を有りの儘に描いて來て居るし、當時の新聞紙を引き上げにのだと云ふ事である。

×

第五編は少年球界、第六編は中等野球界、第七編は實業團の野球、第八編は學内外の野球と分類してあるが、從來の如く單に選手の經歴、選手の人物評、或は試合の經過を記すのみでなく、各時代の野球界の變遷、發展の跡を明瞭にし、且つ各時代の代表的

我が軍用電話線を 吳淞附近で切る

犯人は便衣隊らしく 附近で小銃彈手榴彈發見

【十日發六日發電通】軍司令部發表五日午後八時と十時に吳淞附近で我軍用電話線を切りたる者あり、我軍は犯人を逮捕したが、犯人は便衣隊の仕業と見做され、之に依ると便衣隊を持つ彼我兩軍の位置と見らる

爆彈が破裂して 三勇士悲壯な戰死

便衣隊兵工廠爆破を企つ

【廿日發十九日發電通】廿日午後三時半頃閘北天通庵路の兵工廠に便衣隊の一團が侵入し爆彈を投じたるため、同廠に在りし我軍工兵三勇士は壯烈なる戰死を遂げた

兵匪放火掠奪し 阿城は全滅

住民ハルピンに避難

【ハルピン七日發電通】阿三子の北滿鐵道線は五日來ハルピン東方二百十キロの地點に集結しつつありハルピン東南五十キロの阿城は既に兵匪の放火掠奪のため全滅し住民は續々ハルピンに避難して來てゐる、又一面鐵も危險に瀕し、鐵橋にある伍田〇藏の一部は急遽のため燒失した

密漁、密輸船は 容赦せずに拿捕

臺灣、沖繩の怪漁船に備へて 比島で監視船を遊弋させる

【臺北五日發電通】臺灣總督府水產課では最近臺灣、沖繩近海に於ける怪漁船の跳梁に鑑み、比島に於ける監視船の一隻を臺灣に派遣し、臺灣、沖繩近海に於ける怪漁船の取締りに當らしめることとなつた

敵對すれば 擊沈するぞ

逃亡した軍艦に 飛行機からビラ

【香港六日發電通】廣東當局は飛行機四機を以て逃亡した軍艦に飛び、反國民政府の行動を取らざる樣に警告のビラを撒下した

絞殺犯人 また檢擧

【十四日發電通】十三日午後三時半頃、臺北市太平町二丁目の路上に於て、絞殺犯人について取調べ中の臺北州警察部刑事課員は、犯人の一人を檢擧した

安奉線歪頭山に匪賊襲來

【奉天五日發電通】安奉線歪頭山驛に匪賊襲來の報あり、目下警備隊出動中

廣東は戰時狀態

馮氏に來廣を打電

【香港六日發電通】陳濟棠氏は昨夜廣東情勢の險惡なるを知り、五日夜十二時第一列車にて

共匪討伐軍に 前進中止令

近く蔣討伐通電が 廣東派が軍事協議

【香港六日發電通】陳濟棠氏は五日緊急會議を開き、軍事指導及び對南京問題の結果、北方面の動向に鑑み、南京政府を速かに倒すも其の前の問題を解決すると共に共匪討伐の通電を發せん

柏分、柴村兩選手 けふ內地に遠征

第五回學生陸上競技 選手權大會出場のため

朝日丸にて

見參記

西澤臺北市尹

繼兒扱にされない 方法をしみじみ語る

二萬圓の問題の壁書も 近いうちに見參する

日本側の誠意を 認めて 安奉鐵道問題 解決に決定

歪頭山驛の 兵匪は退却

日本側の誠意を 認めて 取締りを強化して 安奉線歪頭山 に匪賊襲來

廣東は戰時狀態

馮氏に來廣を打電

共匪討伐軍に 前進中止令

近く蔣討伐通電が 廣東派が軍事協議

柏分、柴村兩選手 けふ內地に遠征

第五回學生陸上競技 選手權大會出場のため

新移入の駿馬

賢眞は上から新移入種牡馬、入れた新馬で毛色は栗、牡馬七歳馬主は其筋の宮本氏、高雄、臺中の兩競馬で優勝して地方人は本年四月移入の新馬で毛色は栗、牝馬で七歳、馬主は臺北の吉澤氏、高雄の競馬で優勝、毛色は黒、牡馬で六歳、馬主は臺北の齋藤氏、臺灣の競馬で優勝した牝馬である

四大學應援團

山川體育課長と會見

郡內務部長 著任

門間三屋下川 三氏奏任待遇

青訓所視察

基隆水產試驗場の引越し

臺北州所得稅 調査委員會

爆彈三勇士の 記念塔を建立

久留米工兵大隊が發起

デ杯戰

電力消化の 投資を勸誘

宇賀臺電理事語る 蓬萊丸六日入港

明糖事件で 檢事局協議

脫稅問題は考慮

博物館で 寫眞展

產糖制限— 滿場一致で可決

日糖側の讓歩にて

樟腦專賣法 徹底的に改正か

專賣局で審議中

佛像盜難事件で 責任者を處分

宮內省で協議決定

十萬圓詐取 リンディ二世

拐事件で

博士を棒にふった？

有田の留守を守る 近藤警部補

西日本私設社會 事業聯盟總會

現代哀史 松平長七郎 全十卷 明治の街盜館 芳の巻

漢文臺灣日日新報

重光公使容態惡化

準備輸注其兄之血

六日上海電。頼宮博士。於午前十時半發表。重光公使午前十時容態。體溫四十度。脈搏百十二。呼吸二十四。呼吸降下。脈搏體溫上昇。乃可妥慮狀態。後藤軍醫正。就注腸輸血二者考慮中。結局準備將其令兄之血輸血云。

容態惡化絕望

六日上海電通至急報。重光公使容態更惡化。午前十一時。體溫四十度。脈搏百十八。呼吸二十六。午前十一時四十五分。已成絕望狀態。

停戰協定成立

白川司令官告全軍

五日上海電。五日午後五時軍司令部發表。白川軍司令官。於午後一時二十分。因日軍停戰協定成立。通達於全軍。命其停止一切戰鬪行爲。我國任命村井總領事及原田中佐爲共同委員。

將發討汪通電

粵派軍事協議

中止共產軍討伐　北江嚴重警備

六日香港電。陳濟棠氏。五日開緊急會議。軍事重要。及對南京策。北江方面。嚴重防備。且命共匪討伐前進中之廣東軍。中止前進。俟北華方面發動。然後發表討汪通電。

調查委員晤熙洽氏

質問極其深刻

追究吉林省獨立事情

五日新京電。聯盟中國調查團五國委員。五日午後二時。到國務院後財政部公館。訪熙洽總長。事變勃發後。吉林省率先於他省。宣言獨立之事情。新國家之設。具確之意志。且就反吉林軍現狀等。徹細質問。約一時間辭去。乃近來未曾有之緊張。會見頗末。熙洽氏語左。

財政上之問題。數字的就計算必要。故後日以書面回答之。一行外見難緩和。然對於新國家。相當疑惑。質問深刻。特如余之就任吉林行長。乃因民意推挽一事。一行知難解。最後始納得。反吉林軍首領曾余之友人。故時機一到。誤解自能一掃。歸順於新國家之事自明。故此點特爲詳細說明也。

小濱內務局長

視察新竹

因南部方面買入旺盛。俄然緊騰。

小濱內務局長。六日午前十時半。乘南下列車到新竹。直往自動車。參拜神社。後廻爽吟閣。順道州廳。接見各高等官。制任課長。協議事項。則官上競技表彰。與管內警察官。會計報告。支局長訓示